

平成31年度後期(第4クォーター) 授業時間割表(2016年度以降入学用)

時間割表の見方

- 「時間割番号」について、国際学類開講の時間割を記載してある。同じ開講時間、同じ教員で、同名もしくは異なる名称の科目が他学類等で開講される場合があるが、国際学類とは時間割番号が異なるので注意すること。
○「単位」欄について、単位数が分数表記されている科目は半期で履修する科目で、「クォーター/半期」の単位数を表記してある。1クォーターのみの履修はできない。(履修単位数は各学期に按分される。)
○教室欄は「人1/○○」は人間社会第1講義棟、「人2/○○」は人間社会第2講義棟の教室を、「総/○○」は総合教育講義棟の講義室、「1号館○○」は人間社会1号館、「2号館○○」は人間社会2号館、「5号館○○」は人間社会5号館を示す。
○「●」、「※」、「【」の色がついている科目については、欄外の注意事項をよく確認すること。
○黒文字の科目は「学域GS科目」である。

Table with columns: Day (曜日), Time (時間), Subject (科目), Instructor (開講学類), and Student/Teacher (教員). It details the course schedule for various disciplines across different time slots (1限 to 5限).

(注意)

- 1. 各自対象のシラバスを確認し、履修計画を立てること。特に、カリキュラムにない授業科目の単位を修得しても卒業単位にはならないので十分注意すること。
2. 時間割番号の5桁は再修得不可、小数点つきの7桁は再修得可、小数点つきの8桁は同じ科目をいずれか一度のみ履修可(再修得不可)である。それぞれの番号を正しく登録すること。
3. 【】を付した授業は、適用する入学年度やセットで履修する時間等が記載されているので注意すること。

4. (※)履修に関して注意が必要な科目について

Table with columns: Subject (履修名), Number (時間割番号), Days (曜日時間), Instructor (教員), and Unit (単位数). It lists specific subjects with notes on prerequisites and enrollment.

5. (●)開放科目について

- を付した授業は、開放(逆開放含む)科目で、共通教育科目としても履修することができる。履修登録は、専門教育が共通教育科目かいずれかを選んで行うこと。共通教育科目の時間割番号は、共通教育科目の履修案内に記載のとおり。専門科目または共通教育科目のいずれかで修得した場合、他方で再履修することはできないので十分注意すること。なお、共通教育科目と同じく抽選処理が行われるので、履修希望の場合は、月() 時までには履修登録を行うこと。